

2023年12月25日

総がかり行動実行委員会のみなさま

共同代表 高田 健
藤本 泰成
小田川義和

「軍拡・増税、くらし破壊の悪政NO！裏金づくりの自民党政治は退場を」
1・31集会の開催について（ご連絡）

「イスラエルはガザでの虐殺行為をやめろ」、「人道休戦、即時撤退を」、「人質の解放を」と連日声をあげ、行動に立ち上がっていただいていることに敬意を表します。

さて、自民党全体が政治資金パーティ券収入での「裏金づくり」に手を染めていたことが明らかになり中、悪質性が高いとされる安倍派、二階派への東京地検特捜部の捜査が連日続いています。これまでの「政治とカネ」にまつわる様々な疑惑とは異なり、自民党が丸ごと不法行為を行っていたことが疑われる極めて根深い疑惑です。にもかかわらず、自民党や岸田政権からは、疑惑の徹底説明はもとより「裏金づくり」の温床となった企業献金の禁止や派閥の解消など、改革に取り組む動きは出てきません。

そんな自民党政権が、12月22日に政府が決定した2024年度予算政府原案は、7兆9200億円（対前年比1.1兆円）を軍事費にあてる一方で、社会保障費は自然増5200億円を1500億円圧縮するとして診療報酬をマイナス改定するなど、くらしへのしわ寄せが行われています。異常な軍拡優先政治を、批判が高まる中でも強行しようと言うのです。

内閣支持率が10%台にまで低下し、自民党への政党支持率も下がり始め、政治の転換を求める市民運動も強まっています。その点で、軍拡・増税の政治から、憲法をいかに政治への転換を求める声と運動は今だからの課題です。

その立場から、既に開始している「平和、いのち、くらしを壊し、市民に負担を強いる軍拡、増税に反対する請願署名」を軸に、通常国会開会中の取り組みを強化する決意を固めあう場としての集会を開催することとしました。

年末年始を挟む時期のため、集会の日時、場所等を先行してお知らせします。集会成功に向けて特段の協力をいただきますよう、お願いします。

記

【集会企画の内容】

- と き 2024年1月31日（火）18時30分～20時30分（予定）
- と ころ 四谷区民ホール（東京都新宿区内藤町87）
- 内 容 記念講演
総がかり行動からの行動提起
参加団体、市民の発言
- 規 模 300名目標
- 集会の開催をお知らせいただく「バナー」を添付しますので、ご活用をお願いします。

以 上